

防災・減災に関するアンケートへのご協力をお願い

日頃から県行政の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

広島県では、平成 26 年 8 月の土砂災害の教訓を踏まえ、県民の皆様お一人お一人に、いつ、どこで起きるかも分からない自然災害から、ご自分の命を守るための行動をとっていただくことができるよう、本年 4 月から、広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動を展開しています。

この度、この運動の推進にあたり、防災・減災に関する県民のみなさまの意識や行動内容及び情報の入手手段などの実態を把握して、今後の防災・減災対策に活かすため、防災・減災に関するアンケートを行うことにいたしました。

このアンケートは県内にお住まいの 20 歳以上の方 10,000 人を選挙人名簿から無作為に選んで行うものです。調査で得た結果はすべて統計的に処理をし、調査以外の目的では使用いたしませんので、皆様にご迷惑がかかることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、自然災害による死者ゼロの実現をめざし、この取組を今後、さらに効果的に進めていくため、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成 27 年 月

広島県危機管理監減災対策推進担当

ご記入にあたってのお願い

■質問は、全部で **40** 問あります。ご本人（封筒の宛名の方）がお答えください。

ご本人の記入が難しい場合は、ご本人の意向を確認いただき、ご家族の方等がご記入ください。

■全体で **15** 分程度かかります。記入へのご協力をお願いします。

■ご回答は、番号に○をしてください。「その他」は〔 〕内に内容を具体的にご記入ください。

■ご回答は、設問ごとに〔○は1つ〕〔○はいくつでも〕など指定されていますので、ご注意ください。

■お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、今回の目的以外に利用することは一切ありません。調査、分析は、株式会社東京商エリサーチに委託して実施しておりますが、同社におきましても個人情報の保護については徹底いたします。

■ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒で **10 月〇日**（ ）までに投函してください。

切手は不要です。また、封筒にあなたのご住所、お名前を記入する必要はありません。

広島県危機管理監減災対策推進担当（担当：原田）
住 所：〒730-8511 広島市中区基町 10 番 52 号
電 話：082-513-2781
FAX：082-227-2122
Eメール：gensai@pref.hiroshima.jp

I あなたのことについてお尋ねします。

問1 お住まいの市区町名を教えてください。

(該当する番号に○を1つ)

- | | | | | | | | |
|-----------|---------|-----------|----------|-----------|----------|---------|--------|
| 1. 中区 | 2. 東区 | 3. 南区 | 4. 西区 | 5. 安佐南区 | 6. 安佐北区 | 7. 安芸区 | 8. 佐伯区 |
| 9. 呉市 | 10. 竹原市 | 11. 三原市 | 12. 尾道市 | 13. 福山市 | 14. 府中市 | 15. 三次市 | |
| 16. 庄原市 | 17. 大竹市 | 18. 東広島市 | 19. 廿日市市 | 20. 安芸高田市 | 21. 江田島市 | | |
| 22. 府中町 | 23. 海田町 | 24. 熊野町 | 25. 坂町 | 26. 安芸太田町 | 27. 北広島町 | | |
| 28. 大崎上島町 | 29. 世羅町 | 30. 神石高原町 | | | | | |

問2 お住まいのある場所は次のどれに当たりますか。

(1) お住まいは次のどの地域にありますか。(○は1つ)

- 1 沿岸部
- 2 島嶼部
- 3 内陸部・山間部
- 4 その他 ()

(2) お住まいの場所や周囲の状況について、お答えください。(○はいくつでも)

- 1 なだらかな山の裾野にある
- 2 近くに急峻な山がある
- 3 山に挟まれた谷間にある
- 4 川の側にある
- 5 市街地にある
- 6 海沿いにある
- 7 周囲の地形は平坦である

問3 年齢はどれにあてはまりますか。(平成27年4月1日時点)(○は1つ)

- 1 20～29 歳
- 2 30～39 歳
- 3 40～49 歳
- 4 50～59 歳
- 5 60～69 歳
- 6 70～79 歳
- 7 80 歳以上

問4 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

- 1 男性
- 2 女性

問5 主としてどのような生活形態ですか。(○は1つ)

- 1 企業・団体等で勤務している(正規の従業員, パート, 派遣社員など)
- 2 自営業を営んでいる
- 3 農・林・漁業を営んでいる
- 4 家事や育児などで在宅している
- 5 学生
- 6 定年退職などで在宅している
- 7 その他 ()

問6 あなたのお住まいは次のどれに当たりますか。(○は1つ)

3, 4 の場合は () 欄に階数を数字で記入してください。

- 1 一戸建て住宅(木造住宅)
- 2 一戸建て住宅(鉄骨造住宅)
- 3 2階建て以下の集合住宅の () 階
- 4 3階建て以上の集合住宅の () 階

問7 現在、あなたと同居している方についてお尋ねします。

(1) 同居している方はどなたですか。(○はいくつでも)

- 1 配偶者
- 2 親
- 3 乳幼児 (未就学児)
- 4 小学生の子ども
- 5 中学生以上の子ども
- 6 親戚や知り合いなど
- 7 同居している人はいない (一人暮らし)
- 8 その他 ()

(2) 1～6に○をつけた方にお尋ねします。同居している方のうち、災害時に自力で避難することが困難な方はいらっしゃいますか。(○は1つ)

- 1 いる
- 2 いない

問8 地域での防災活動への関わりについて教えてください。(○はいくつでも)

- 1 自主防災組織で活動している
- 2 自主防災組織で役員等をしている
- 3 消防団・水防団に所属している
- 4 関わりはない
- 5 その他 ()

問9 あなたは、町内会・自治会に入っていますか。

また、町内の人々とどれくらい親しく付き合っていますか。(○は1つ)

- 1 町内会・自治会に入っていて、町内に親しく付き合っている人がいる。
- 2 町内会・自治会に入っていて、会えば挨拶をする程度の人がいる。
- 3 町内会・自治会に入っているが、町内の人とつきあいが無い。
- 4 町内会・自治会に入っていない。

Ⅱ あなたの災害に対する意識等についてお尋ねします

【災害への関心について】

問1 自然災害についての考えをお答えください。(〇は1つ)

- 1 以前から身近に感じている
- 2 最近, 身近に感じるようになった
- 3 身近なことだとは思いますが, 普段は意識しない
- 4 身近なこととっていない

問2 あなたは, どの災害について特に知りたいと思っていますか。(〇はいくつでも)

- 1 地震
- 2 津波
- 3 台風(暴風雨)
- 4 豪雨
- 5 河川の氾濫
- 6 高潮
- 7 土砂災害
- 8 豪雪・雪崩
- 9 その他 ()

【災害危険性の認知度について】

問3 あなたの身の周りで, どのような災害の危険性が想定されているか御存知ですか。(7又は8以外は〇はいくつでも)

※県の防災 Web や, 市町のハザードマップ※1などで災害危険箇所を公開しています。

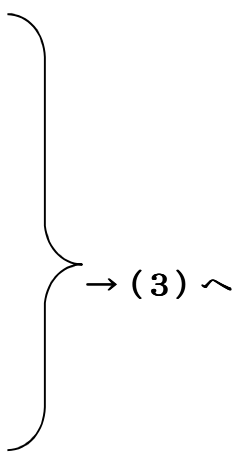
- | | | |
|-------------------|---|--------|
| 1 地震の危険性 | } | → 問4 へ |
| 2 津波で浸水する危険性 | | |
| 3 川の氾濫による浸水の危険性 | | |
| 4 内水氾濫※2による浸水の危険性 | | |
| 5 高潮による浸水の危険性 | | |
| 6 土砂災害の危険性 | | |
| 7 災害の危険性はない | | → 問5 へ |
| 8 どんな危険性があるか知らない | | → 問6 へ |

※1 自然災害(地震・津波・洪水・土砂災害等)による被害の軽減や防災対策に使用する目的で, 被害想定区域や避難場所などを表示した市町が作成する地図

※2 川の水位の上昇や流域内の多量の降雨などにより, 河川外における住宅地などの排水が困難となり浸水すること

問4 問3で「1～6」を回答した人にお尋ねします。

(1) 災害の危険性は、どのようなきっかけで知りましたか。(〇はいくつでも)

- 1 自分で調べた → (2) へ
 - 2 家族に聞いた (話し合った)
 - 3 地域の方 (個人, 自主防災組織, 消防団) から教えてもらった
 - 4 地域の住民ではない友人や知人から教えてもらった
 - 5 市役所 (町役場) の人から聞いた
 - 6 職場で教えてもらった
 - 7 学校で教えてもらった
 - 8 自ら災害を体験した
 - 9 家族 (親戚)・知人が災害を体験した
 - 10 その他 ()
- 

(2) 問4の(1)で「1 自分で調べた」を回答した人にお尋ねします。

災害の危険性を知ろうと思った大きなきっかけは何ですか。

(〇は3つまで)

- 1 昨年, 広島市で大規模災害があったから
- 2 近年, 各地で災害が起きているから
- 3 防災教室, 出前講座, 防災訓練, 防災イベントで教わったから
- 4 子どもが学校で確認するよう教わったから
- 5 テレビ, 新聞, ラジオなどで見聞きしたから
- 6 県・市町のホームページ, 広報誌, 広報番組で見聞きしたから
- 7 広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動を知ったから
- 8 自主防災組織や町内の人から勧められたから
- 9 市役所 (町役場) の人から勧められたから
- 10 自分が災害を経験したから
- 11 家族 (親戚)・知人が災害を体験したから
- 12 インターネット上の記事や情報を見たから
- 13 職場で勧められたから
- 14 地域の住民ではない友人や知人から勧められたから
- 15 その他 ()

(3) 災害の危険性を確認した方法を教えてください。(〇はいくつでも)

- 1 県の防災Web や市町のホームページなどで公開されているハザードマップ
- 2 市町が紙に印刷して配布したハザードマップ※
- 3 県の防災 Web や市町のホームページなどで公開している土砂災害危険箇所, 土砂災害警戒区域・特別警戒区域, 洪水・高潮・津波浸水想定区域等
- 4 地域住民が独自に作成した防災マップ
- 5 実際に地域を歩いてみた
- 6 その他 ()

→問7へすすんでください。

問5 問3で「7 災害の危険性はない」と回答した人にお尋ねします。

災害の危険性はないとされた理由は何ですか。(〇は1つ)

- 1 ハザードマップや実際に地域を歩いて危険性を確認するなどした結果
- 2 ハザードマップや実際に地域を歩いて危険性を確認するなどはしていないが, 危険性はないと思っている
- 3 ハザードマップや実際に地域を歩いて危険性を確認するなどはしていないが, 地域でこれまで災害が起こっていないから
- 4 その他 ()

**問6 問3で「8 どんな危険性があるか知らない」と回答した人にお尋ねします。
危険性を知らない理由を教えてください。(〇はいくつでも)**

- 1 知りたいが、誰(どこに)に聞いたらよいか分からない
- 2 知りたいが、忙しくて確認する時間がない
- 3 知りたいが、調べても県や市町などが提供する情報が分かりにくい
- 4 危険性を確認する必要性を感じない
- 5 災害が起きたらその時はその時だと思っている
- 6 その他()

【避難場所等の確認状況について】

問7 お住まいから最も近い避難場所を確認していますか。

- 1 確認している → 問8 へ
- 2 確認していない → 問11 へ

問8 問7で避難場所を「1 確認している」と回答した人にお尋ねします。

その避難場所は、どの災害(地震, 津波, 土砂災害, 高潮, 洪水)にも対応が可能ですか。(〇は1つ)

- 1 対応できない災害がある → 問9 へ
- 2 対応可能である → 問10 へ
- 3 知らない(分からない) → 問11 へ

問9 問8で「1 対応できない災害がある」と回答した人にお尋ねします。

一か所の避難場所では対応できない場合、災害の種類に応じた避難場所を確認していますか。

- 1 確認している → 問10 へ
- 2 確認していない → 問11 へ

問 10 避難場所は何で確認しましたか。(〇はいくつでも)

- 1 県の防災Web や市町のホームページなどで公開されているハザードマップ
- 2 市町が紙に印刷して配布したハザードマップ
- 3 地域住民が独自に作成した防災マップ
- 4 実際に地域を歩いてみた
- 5 地域の方（個人，自主防災組織，消防団など）から避難場所を教えてもらった
- 6 市役所（町役場）の人から聞いた
- 7 その他（ ）

問 11 避難場所までの避難経路を災害の種類に応じて確認されていますか。(〇は1つ)

※ハザードマップなどをもとに避難経路上の危険箇所・迂回路の有無などを含めて確認しているかどうかお答えください。

- 1 実際に歩いて確認している
- 2 実際に歩いてはいないが，確認している
- 3 避難経路は確認しているが，災害の種類に応じてではない
- 4 確認していない

問 12 問7で避難場所を「2 確認していない」，問11で避難経路を「4 確認していない」を回答した人にお尋ねします。

避難場所・避難経路を確認していない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- 1 確認したいが，誰（どこに）に聞いたらよいか分からない
- 2 確認したいが，忙しくて確認する時間がない
- 3 確認したいが，県や市町などが提供する情報が分かりにくい
- 4 確認する必要性を感じない
- 5 災害が起きたらその時はその時だと思っている
- 6 その他（ ）

【気象情報や避難情報等の認知度について】

問 13 次の区分による名称とその意味を御存知ですか。

(該当する数字を○で囲んでください。)

区 分	知っている	名称は知っているが、 意味は知らない	知らない
(1) (大雨・洪水などの) 注意報	1	2	3
(2) (大雨・洪水などの) 警報	1	2	3
(3) 土砂災害警戒情報	1	2	3
(4) (大雨・洪水などの) 特別警報	1	2	3

問 14 「避難準備情報」、「避難勧告」及び「避難指示」についてお尋ねします。

(1) 「避難準備情報」、「避難勧告」及び「避難指示」の情報の名称と、これらは、どんな時に発令されるか御存知ですか。下記 1～4の中から、当てはまる数字をお選びください。

- 1 どのような時に発令されるのかよく知っている
- 2 どのような時に発令されるのか、だいたい知っている
- 3 名称は知っているが、内容は知らない
- 4 名称を知らない

区 分	防災情報の 認知度
避難準備情報	
避難勧告	
避難指示	

(2) 「避難準備情報」、「避難勧告」及び「避難指示」が発令された場合、どのような行動が必要となりますか。下記 1～3の中から、当てはまる数字をお選びください。

- 1 避難行動に時間を要する人は、避難行動を開始
- 2 避難行動を開始
- 3 避難中の方は、避難行動を直ちに完了
又は、避難行動を行っていない人は、直ちに避難行動に移る

区 分	必要な行動
避難準備情報	
避難勧告	
避難指示	

問 17 大雨や台風の際に、自らの命を守るために、次の情報を、どこから入手しますか。
下記 1～13の中から、当てはまる数字をお選びください。（それぞれ3つまで）

- 1 テレビ（天気予報を含む）
- 2 テレビのデータ放送※
- 3 ラジオ
- 4 インターネット（県防災 Web，気象庁ホームページ等）
- 5 県や市町の防災情報メール
- 6 防災行政無線
- 7 ツイッターやフェイスブックなど SNS
- 8 市町の広報車
- 9 町内会や自主防災組織から
- 10 消防署や消防団から
- 11 家族，友人，近所の方から
- 12 入手しない
- 13 その他（ ）

※テレビのリモコンの d ボタンを押すと，雨量・水位などの観測データや気象予警報，土砂災害警戒情報などの情報を見たいときにいつでも見ることができるサービス

情報の種類	第1位	第2位	第3位	その他（13）を選んだ場合，その内容
雨量や水位，風速に関する情報				（ ）
注意報，警報，土砂災害警戒情報				（ ）
避難に関する情報				（ ）

**問 18 県及び市町では、登録者に防災情報メール※をお送りしています。
このことを、御存じですか。(○は一つ)**

※大雨や洪水に関する注意報や警報、土砂災害警戒情報及び地域の雨量などの情報を防災情報メールで登録者の携帯電話、スマートフォンなどにお知らせしています。防災情報メールの登録方法については、県防災 Web に掲載しています。

- 1 知っており、登録もしている → 問 20 へ
- 2 知っているが、登録しない → 問 19 へ
- 3 知らないが、今後登録したい → 問 20 へ
- 4 知らないし、登録も考えていない → 問 19 へ

問 19 問 18 で「2 知っているが、登録しない」、 「4 知らないし、登録も考えていない」と回答した人にお尋ねします。その理由は何ですか。(○は3つまで)

- 1 登録方法を知らないから
- 2 登録方法が複雑だから
- 3 防災情報アプリなど、他の入手方法があるから
- 4 生活圏は安全だから登録する必要性がない
- 5 パソコンや携帯電話を持っていないから
- 6 役に立たないから (情報が少ないから)
- 7 その他 ()

【避難行動について】

問 20 大雨や台風による災害が想定されるとき、あなたはどの時点で避難行動を開始しますか。(○は一つ)

- 1 市町が避難準備情報を発令したとき
 - 2 市町が避難勧告を発令したとき
 - 3 市町が避難指示を発令したとき
 - 4 近所の人が始めたとき
 - 5 近所の人に避難を促されたとき
 - 6 1～3に関わらず、自分で判断したとき
 - 7 その時になってみないとわからない
 - 8 行動をとらない
- 問 22 へ
- 問 21 へ

問 21 問 20 で「7 その時になってみないとわからない」又は「8 行動をとらない」と回答した人にお尋ねします。その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 自宅が安全だから、自宅内の退避で足りると思うから
- 2 避難する途中に災害にあうかもしれないから
- 3 どこに避難したらよいかわからないから
- 4 避難場所が遠いから
- 5 自分又は家族に高齢者や乳幼児、体が不自由な人がいるため避難が困難だから
- 6 理由は特にない
- 7 その他 ()

問 22 避難行動のうち知っているものはどれですか。(〇はいくつでも)

- 1 避難場所への移動
- 2 (自宅等から移動しての) 安全な場所への移動 (公園, 親戚や友人の家等)
- 3 近隣の高い建物, 強度の強い建物等への移動
- 4 建物内の安全な場所での退避
- 5 知らない

問 23 あなたのお住まいの地域では、災害時にお互いに避難を呼びかけることなどについて、どのような体制が整えられていますか。(4 又は 5 以外は〇はいくつでも)

- 1 自ら避難することが困難な人の避難支援を行うこととしている
- 2 隣近所などで、お互いに避難を呼びかけることとしている
- 3 連絡網を作成している
- 4 地域で避難を呼びかける体制はない
- 5 どのような体制になっているか知らない

【防災教室・防災訓練への参加について】

問 24 あなたは、過去 1 年間に、地域や職場・学校で防災活動(防災教室や防災訓練等)に参加したことがありますか。(〇は 1 つ)

- 1 地域と職場・学校の両方の防災活動に参加した
- 2 地域の防災活動に参加したが、職場・学校の防災活動には参加していない
- 3 職場・学校の防災活動に参加したが、地域の防災活動には参加していない
- 4 防災活動が行われたのは知っているが、参加していない
- 5 防災活動が行われたかどうか知らない

問 25 どのような防災活動に参加されましたか。

問 24 で「1～3 防災活動に参加した」と回答した人は参加内容を、
「4, 5 参加してない」と回答した人は今後の参加意向をお答えください。
(○はいくつでも)

- 1 避難訓練
- 2 図上訓練
- 3 消火訓練
- 4 救出・救助訓練
- 5 応急手当訓練
- 6 炊き出し訓練
- 7 情報伝達訓練
- 8 避難支援が必要な人の避難支援訓練
- 9 避難所運営訓練
- 10 防災教室
- 11 防災研修会・講演会
- 12 危険な箇所や避難場所、避難経路を確認するためのまちあるき
- 13 その他 ()

問 26 問 24 で「4 防災活動が行われたのは知っているが、参加していない」と回答した人にお尋ねします。

地域や職場・学校の防災活動に参加されなかったのは、なぜですか。(○は1つ)

- 1 他に用事があったから
- 2 忙しいから
- 3 防災活動に参加する必要性を感じないから
- 4 防災活動に関心がないから
- 5 その他 ()

問 27 今後実施される防災活動を知る上で最も有効な告知方法は何だと思えますか。(○は1つ)

- 1 テレビ
- 2 新聞
- 3 フリーペーパー、タウン情報誌等
- 4 町内会の回覧
- 5 県又は市町のホームページ、広報誌
- 6 職場、学校を通じた周知
- 7 その他 ()

問 28 広島県では、全県民を対象に、「一斉防災教室」・「一斉地震防災訓練」を実施しましたが、参加されましたか。(○は1つ)

※ 一斉防災教室：5月から6月にかけて行った、梅雨への備えとして、災害危険箇所、避難場所及び避難経路を確認するための教室

一斉地震防災訓練：9月に行った、地震から命を守るための行動をとる訓練

- | | | | |
|----------------------------|---|--------|---|
| 1 両方とも参加した | } | → 問 29 | へ |
| 2 一斉防災教室のみ参加した | | | |
| 3 一斉地震防災訓練のみ参加した | | → 問 32 | へ |
| 4 開催されることは知っていたが、参加していない | | → 問 30 | へ |
| 5 開催されることを知らなかったので、参加していない | | → 問 31 | へ |

問 29 問 28 で「1 両方とも参加した」、「2 一斉防災教室のみ参加した」を回答した人にお尋ねします。

教室に参加したことをきっかけに取組まれたことはありますか。(○はいくつでも)

- 1 家族などで災害への備えについて話し合った
- 2 地域の災害危険箇所を歩いて確認した
- 3 地域などで行われる防災教室や防災訓練に参加した
- 4 自主防災組織の活動に参加してみたいと考えている
- 5 取り組んでいない
- 6 その他 ()

問 30 問 28 で「4 開催されることは知っていたが、参加していない」を回答した人にお尋ねします。

参加しなかった理由を教えてください。(○はいくつでも)

- 1 他に用事があったから
- 2 忙しいから
- 3 防災活動に参加する必要性を感じないから
- 4 防災活動に関心がないから
- 5 防災教室や防災訓練で何をすればよいのか分からなかったから
- 6 その他 ()

問 31 問 28 で「5 開催されることを知らなかったので、参加していない」を回答した人にお尋ねします。開催されることを知っていれば、参加されましたか。(○は1つ)

- 1 参加した
- 2 参加しなかった

【災害への備えについて】

問 32 あなたは、災害に備えて次の各項目を行うことは重要であると思われますか。また、実際に行っていますか。(それぞれ該当する数字に○を1つ)

	重要だと思 行っている	重要だと思 行っていない	重要だと思 われないが 行っている	重要だと思 われないし 行っていない
1 懐中電灯、携帯ラジオ、医薬品等非常持出品を用意する	1	2	3	4
2 3日分以上の食料・飲料水を備蓄する	1	2	3	4
3 災害時における家族間の連絡方法を定める	1	2	3	4
4 家具の転倒防止策をとる	1	2	3	4
5 町内会・自主防災組織に加入する	1	2	3	4



ひとつでも2と答えた方は問33へ
※それ以外の方は問34へ進んでください。

問 33 問 32 で「2 重要だと思いつながらも行っていない」項目がひとつでもある場合、その理由は何ですか。

- 1 何をしてよいのか分からないから
- 2 忙しくて備えをする時間がないから
- 3 費用や手間がかかるから
- 4 市や町が物資を提供してくれるから
- 5 災害が起きると思っていないから
- 6 その他 ()

(該当する数字を○で囲んでください。)

項 目	理 由					
1 懐中電灯, 携帯ラジオ, 医薬品等 非常持出品を用意する	1	2	3	4	5	6 ()
2 3日分以上の食料・飲料水を備蓄 する	1	2	3	4	5	6 ()
3 災害時における家族間の連絡方法 を決める	1	2	3	4	5	6 ()
4 家具の転倒防止策をとる	1	2	3	4	5	6 ()
5 町内会・自主防災組織に加入する	1	2	3	4	5	6 ()

問 34 あなたがお住まいの家屋（あなたが所有, 又はあなたが同居する親族等が所有）が, 建築基準法に基づく現行の耐震基準（昭和 56 年 6 月 1 日導入）以前に建築された方にお尋ねします。

自宅の耐震診断を行ったことがありますか。（○は1つ）

- | | | | | |
|--------------|---|------|------|---|
| 1 ある | → | 問 35 | へ | |
| 2 ない | } | → | 問 36 | へ |
| 3 わからない | | | | |
| 4 賃貸物件に住んでいる | | | | |

問 35 問 34 で「1 ある」を回答した人にお尋ねします。

耐震診断の結果と、その結果を受けてどのような対策を講じた、あるいは講じようとしてありますか（○は1つ）

- 1 耐震性があることを確認した
- 2 耐震性がなかったため、耐震改修工事(建て替え)を実施した
- 3 耐震性がなかったため、耐震改修工事(建て替え)を考えている
- 4 耐震性はなかったが、耐震改修工事は考えていない

【災害への意識の変化について】

問 36 平成 26 年 8 月 20 日に広島市で発生した土砂災害以降、家庭、地域などで、**災害への備えをされましたか。（○は1つ）**

- 1 平成 26 年 8 月 20 日以前から備えをしている
- 2 平成 26 年 8 月 20 日を機に備えをした
- 3 備えはしていない

【「みんなで減災」県民総ぐるみ運動について】

問 37 県では、平成 27 年 4 月から、「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」を展開しています。この運動を御存じですか。（○は1つ）

- | | | | |
|----------------------|-----|------|---|
| 1 行動目標を含めて、知っている | } → | 問 38 | へ |
| 2 聞いたことはあるが、詳しくは知らない | | 問 39 | へ |
| 3 まったく知らない | | | |

問 38 問 37 で「1 行動目標を含めて、知っている」又は「2 聞いたことはあるが、詳しくは知らない」を回答した人にお尋ねします。

この運動を何で知りましたか。(〇はいくつでも)

- 1 地域の方(個人, 自主防災組織, 消防団など)から教えてもらった
- 2 市役所(町役場)の人から聞いた
- 3 学校からの配付資料(チラシ等)
- 4 コンビニ等県政情報ラック(チラシ等)
- 5 県のホームページ
- 6 出前講座, 防災教室, 防災訓練など
- 7 県広報誌
- 8 県広報番組(テレビ)
- 9 県公式 SNS(フェイスブック・ツイッター)
- 10 街中などにある電子掲示板(デジタルサイネージ)
- 11 テレビや新聞, ラジオなど
- 12 その他()

問 39 あなたは、防災・減災についてどんなことから取り組んでみたいと思いますか。

()

- (例)
- ・災害危険箇所, 避難場所, 避難経路などの確認
 - ・気象情報, 防災情報の入手手段の確保(防災情報メールなど)
 - ・災害の種類に応じた早めの適切な避難行動, 隣近所での避難の声掛け
 - ・防災教室や防災訓練への参加
 - ・非常持出品の準備, 家具の転倒防止等

問 40 防災・減災について自由な御意見をお願いします。

質問は以上です。

御協力ありがとうございました。

■ 土砂災害警戒情報

大雨警報（土砂災害）が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度がさらに高まったときに、市町村長が避難勧告等の災害応急対応を適時適切に行えるよう、また、住民の自主避難の判断の参考となるよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、都道府県と気象庁が共同で発表します。

■ 「避難準備情報」、「避難勧告」及び「避難指示」

災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、人の生命又は身体を災害から保護する必要性があると認められる場合に、市長又は町長が発令します。

「避難準備情報」、「避難勧告」、「避難指示」の発令時の状況

区 分	発 令 時 の 状 況
避難準備情報	避難行動要支援者等、特に避難行動に時間を要する人が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が高まった状況
避難勧告	通常の避難行動ができる人が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況
避難指示	<ul style="list-style-type: none"> 前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 堤防の隣接地等、地域の特性等から人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 人的被害の発生した状況

「避難準備情報」、「避難勧告」、「避難指示」の発令時に求められる行動

区 分	必要な行動
避難準備情報	<ul style="list-style-type: none"> 避難行動要支援者等、特に避難行動に時間を要する人は、避難行動を開始（避難支援者は支援行動を開始） 上記以外の方は、家族等との連絡、非常持出品の用意等、避難準備を開始
避難勧告	<ul style="list-style-type: none"> 通常の避難行動ができる人は、避難行動を開始
避難指示	<ul style="list-style-type: none"> 避難勧告等の発令後で避難中の人は、避難行動を直ちに完了 未だ避難していない対象者は、直ちに避難行動に移るとともに、そのいとまがない場合は生命を守る最低限の行動をとる

■ 土砂災害と前兆現象の種類

これらの災害が発生するときには、前兆現象が現れることがあります。土砂災害の発生前に必ずしも前兆現象が見られるわけではありません。前兆現象が確認されたときは、既に、土砂災害が発生している、または発生する直前であるため、ただちに避難行動をとる必要があります。

区 分	前兆現象の例
土 石 流	<ul style="list-style-type: none">・ 地鳴り，山鳴り，石のぶつかり合う音が聞こえる。・ 雨が降り続けているのに川の水位が下がる（土砂により上流で流れがせき止められている。）。・ 川の水が急に濁ったり，流木が混ざり始める。・ 腐った土の臭いがする。
がけ崩れ	<ul style="list-style-type: none">・ がけに亀裂が入る。・ がけからの水が濁る。・ がけから小石がパラパラ落ちてくる。・ がけから木の根が切れる音がする。
地すべり	<ul style="list-style-type: none">・ 水面や井戸の水が濁る。・ 地面にひび割れができる。・ 斜面から水が噴き出す。・ 家や擁壁に亀裂が入る，家や擁壁，樹木や電柱が傾く。 <p>（雨のほか，地震によって引き起こされる場合があります。）</p>

■ 広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動

県民及び自主防災組織等が災害から命を守るために適切な行動をとることができるよう、県民、自主防災組織、事業者、行政等が一体となって展開する運動

※県民及び自主防災組織等が災害から命を守るために適切な行動をとるための「行動目標」

- 1 身の周りの災害危険箇所などを「知る」
- 2 災害発生の危険性をいち早く「察知する」
- 3 自ら判断して適切に「行動する」
- 4 防災教室や防災訓練などで「学ぶ」
- 5 非常持出品の準備や地域のつながりを強めるなど災害に「備える」

気象情報の種類

(気象庁のホームページを一部加工)

■ 特別警報の種類と警告内容

警報の発表基準をはるかに超える豪雨等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、特別警報を発表し、最大限の警戒を呼び掛けます。

気象庁では、次に掲げる6種類の特別警報を発表しています。

大雨 特別警報	<p>大雨特別警報は、台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合に発表します。</p> <p>大雨特別警報が発表された場合、浸水や土砂災害などの重大な災害が発生するおそれが著しく大きい状況が予想されます。</p> <p>雨がやんでも、重大な土砂災害などのおそれが著しく大きい場合は、発表を継続します。</p>
大雪 特別警報	<p>大雪特別警報は、数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合に発表します。</p>
暴風 特別警報	<p>暴風特別警報は、数十年に一度の強さの台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合に発表します。</p>
暴風雪 特別警報	<p>暴風雪特別警報は、数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合に発表します。</p> <p>「暴風による重大な災害」に加えて「雪を伴うことによる視程障害(見通しが利かなくなること)などによる重大な災害」のおそれが著しく大きいことについても警戒を呼びかけます。</p>
波浪 特別警報	<p>波浪特別警報は、数十年に一度の強さの台風や同程度の温帯低気圧により高波になると予想される場合に発表します。</p> <p>この「高波」は、地震による「津波」とは全く別のものです。</p>
高潮 特別警報	<p>高潮特別警報は、数十年に一度の強さの台風や同程度の温帯低気圧により高潮になると予想される場合に発表します。</p>

■ 警報の種類と警告内容

警報とは、重大な災害が起こるおそれのあるときに警戒を呼びかけて行う予報です。

気象庁では次に掲げる7種類の警報を発表しています。

大雨警報	<p>大雨警報は、大雨による重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。対象となる重大な災害として、重大な浸水災害や重大な土砂災害などがあげられます。</p> <p>雨がやんでも、重大な土砂災害などのおそれが残っている場合は、発表を継続します。</p>
洪水警報	<p>洪水警報は、大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。</p> <p>対象となる重大な災害として、河川が増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害があげられます。</p>
大雪警報	<p>大雪警報は、大雪により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。</p>
暴風警報	<p>暴風警報は、暴風により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。</p>
暴風雪警報	<p>暴風雪警報は、雪を伴う暴風により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。</p> <p>「暴風による重大な災害」に加えて「雪を伴うことによる視程障害(見通しが利かなくなること)などによる重大な災害」のおそれについても警戒を呼びかけます。</p> <p>「大雪+暴風」の意味ではなく、大雪により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときには、「大雪警報」を発表します。</p>
波浪警報	<p>波浪警報は、高い波により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。この「高波」は、地震による「津波」とは全く別のものです。</p>
高潮警報	<p>高潮警報は、台風や低気圧等による異常な海面の上昇により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。</p>

■ 注意報の種類と注意喚起内容

注意報とは、災害が起こるおそれのあるときに注意を呼びかけて行う予報です。

気象庁では 16 種類の注意報を発表しています。そのうち主なものは次のとおりです。

<p>大雨 注意報</p>	<p>大雨注意報は、大雨による災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。</p> <p>対象となる災害として、浸水災害や土砂災害などがあげられます。</p> <p>雨がやんでも、土砂災害などのおそれが残っている場合は、発表を継続します。</p>
<p>洪水 注意報</p>	<p>洪水注意報は、大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。</p> <p>対象となる災害として、河川が増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による災害があげられます。</p>
<p>大雪 注意報</p>	<p>大雪注意報は、大雪により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。</p>
<p>強風 注意報</p>	<p>強風注意報は、強風により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。</p>
<p>風雪 注意報</p>	<p>風雪注意報は、雪を伴う強風により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。</p> <p>「強風による災害」に加えて「雪を伴うことによる視程障害(見通しが利かなくなること)などによる災害」のおそれについても注意を呼びかけます。</p> <p>「大雪+強風」の意味ではなく、大雪により災害が発生するおそれがあると予想したときには「大雪注意報」を発表します。</p>
<p>波浪 注意報</p>	<p>波浪注意報は、高い波により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。</p> <p>この「高波」は、地震による「津波」とは全く別のものです。</p>
<p>高潮 注意報</p>	<p>高潮注意報は、台風や低気圧等による異常な海面の上昇により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。</p>

上記のほかに、「濃霧」、「雷」、「乾燥」、「なだれ」、「着氷」、「着雪」、「融雪」、「霜」及び「低温」の9つの注意報があります。